



特定非営利活動法人共生フォーラム

2012年1月30日

関係各位

カンボジアの子供たちから元気をもらおう大作戦！
第1期小・中学校建設プロジェクトの調印及び起工式を行いました。

2012年1月22日(日)アンコールワットで有名なシェムリアップ市内の私どもが現地事務所を構えるシティ・アンコール・ホテルにて、Nokor Kokthlok Co., Ltd.社(代表 Mr. Seang Nam)と第1期プロジェクトのクヴィアン小学校増築及び(仮称)日本カンボジア共生中学校新築工事に関する請負契約を締結しました。翌、1月23日(月)(旧暦の1月1日)にアンコールワットより徒歩圏内にあるシェムリアップ市コックチョー地区クヴィアン村内クヴィアン小学校敷地にて、カンボジア 教育・青少年・スポーツ省関係者、シェムリアップ州教育・青少年・スポーツ局長官、シェムリアップ市長、クヴィアン小学校校長を始め、クヴィアン小学校の児童、クヴィアン村民ら約250名の関係者が見守る中、起工式が執り行われました。

この学校建設は私ども共生フォーラム初の国際協力の活動「カンボジアの子供たちから元気をもらおう大作戦」の第1期プロジェクトのカンボジアの教育インフラの整備として、不足している小学校の校舎1棟(5教室)と無中学区に中学校の校舎2棟(10教室)、附属施設のトイレ棟を建設し、寄贈するものであります。竣工予定は本年8月末、寄贈式を9月に予定しております。本年10月から始まる新学期からは、新しい校舎で子供たちが未来の夢や希望に瞳を輝かせながら、真摯に勉学に励んでいただけることと存じます。

なお、この校舎が完成すると、クヴィアン村には既存の小学校1棟(5教室)が2棟10教室となり、同敷地に中学校2棟10教室が新設されるため、卒業児童たちが何kmも離れた遠くの中学校に通うことなく、馴染みの環境の中、中学校に通うことが出来るようになります。また本プロジェクト用地についてはカンボジア 教育・青少年・スポーツ省より、当法人が無償で提供を受けております。

私どものこのカンボジアの子供たちから元気をもらおう大作戦は、一方通行の経済的援助・支援ではありません。この活動を通じて、両国の子供たちの未来を信じ、自ら一步一步「夢」や「希望」に向かって、多くの人と一緒に歩き始め、カンボジアNGOの先人たちがすでに築き上げられた両国の絆を一層、深めていけるよう、邁進してまいりたいと思っております。皆様からの更なるご理解とご支援また応援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

感謝合掌

特定非営利活動法人共生フォーラム
理事長 神成 裕

※本件に関するお問い合わせは、事務局(048-644-0880)までお願いいたします。

クヴィアン小学校及び(仮称)日本カンボジア共生中学 起工式レポート

日時:2012年1月23日(日) 午前9時より

場所:カンボジア王国 シェムリアップ州 シェムリアップ市 コックチョー地区 クヴィアン村

現地に着くとすでに多くの子供たちと地域の皆様がカンボジアそして日本の国旗を手に私たちを温かく迎えてくれました。子供たちの瞳は将来への夢や希望できらきらとそして凛と輝いていました。

祭壇に関係者が着席すると、開式の言葉が述べられ、僧侶による読経から祭礼が始まりました。その後、来賓紹介があり、日本の国歌「君が代」、カンボジアの国歌「王国(Nokor Reach)」が斉唱されました。引き続き、シェムリアップ市 テプ・ブンチャー市長、クヴィアン小学校 ホー・キムホン校長、シェムリアップ州 教育・青少年・スポーツ局 ウン・セレディ長官、共生フォーラム 神成 裕理事長、シェムリアップ州 シン・ナム国会議員より挨拶がありました。神成理事長は、あいさつの中で児童たちに親孝行をしなさいとお話しました。

挨拶が終わると、現地で準備されていた子供たちへの学用品及び村人たちにプレゼントが渡されました。また日本から持参したえんぴつやノート、クレヨンを子供たちに渡しました。

その後、工事現場で石入れの儀が執り行われ、僧侶による土地の清めや工事期間中の安全が祈禱されたのち、関係者が石入れを行い、起工式は約1時間程度で恙なく終了しました。工事現場から戻ると、児童たちがすでに花道を作り、両国の国旗を振っての温かい見送りを受け、クヴィアン小学校を後にしました。



起工式の会場 祭壇です



開会あいさつ



僧侶による読経



ブンチャー市長あいさつ



キムホン校長あいさつ



セレディ長官あいさつ

共に生きる



神成理事長あいさつ



ナム国会議員あいさつ



子供たちへ学用品の贈呈



村人へ贈呈



日本からの文房具贈呈



教育省関係者との記念撮影



工事現場での安全祈願等



石入れの儀式



笑顔の児童たち



児童たちによる花道



花道を歩く神成理事長ほか



児童たちによる見送り